

令和3年度行政事業レビューシート ( 人事院 )

<b>事業名</b>	職員の保健及び安全保持			<b>担当部局庁</b>	職員福祉局	<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始年度</b>	昭和26年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	終了予定なし	<b>担当課室</b>	職員福祉課	課長 役田 平		
<b>会計区分</b>	一般会計							
<b>根拠法令(具体的な条項も記載)</b>	国家公務員法第71条(能率の根本基準) 人事院規則10-4、10-5、10-7、10-8、10-13			<b>関係する計画、通知等</b>	-			
<b>主要政策・施策</b>	-			<b>主要経費</b>	その他の事項経費			
<b>事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	能率的な公務運営を確保するため、職員の健康管理及び安全管理に関する諸施策を実施することにより、国家公務員が安心して職務に専念することができる環境を整備する。							
<b>事業概要(5行程度以内。別添可)</b>	国家公務員が快適で安全な職場環境において健康な状態で職務に従事できるようにするため、健康専門委員、安全専門委員等を委嘱して専門家の知見を得て、必要な規則・通知の策定・改正、各府省に対する指導、各種調査等を行うとともに、毎年国家公務員安全週間・健康週間を設けるなどして職員への啓発を図っている。 特に近年は、職員の心の健康問題が重要な課題となっており、過度のストレスがなく、いきいきとした職場の実現を目指す「心の健康づくりのための職場環境改善」の取組の推進、心の健康づくり研修の充実・強化、人事院の開設する相談室による相談体制の整備、円滑な職場復帰の促進、心の不健康な状態を未然に防止するなどを目的としたストレスチェック制度の実施等の心の健康づくり対策に力を入れている。							
<b>実施方法</b>	直接実施							
<b>予算額・執行額(単位:百万円)</b>		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度要求		
	予算の状況	当初予算	10	15	10	10		
		補正予算	0	0	0			
		前年度から繰越し	0	0	0	0		
		翌年度へ繰越し	0	0	0			
		予備費等	0	0	0			
		計	10	15	10	10	20	
		執行額	9	10	6			
		執行率(%)	90%	67%	60%			
		当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	90%	67%	60%			
<b>令和3・4年度予算内訳(単位:百万円)</b>	<b>歳出予算目</b>	令和3年度当初予算	令和4年度要求	<b>主な増減理由</b>				
	任用試験費	1.9	10.2	(任用試験費) 令和2年度の執行率は60%となっているが、これは新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、相談室の開設の中止や対面方式での研修を中止したこと、さらに、心の健康づくりの研修教材の改修については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止等による働き方の変化等がメンタルヘルスに及ぼす影響などについて、社会の動向などを注視する必要があることから、研修資料の改修を行わなかったこと等によるものである。 令和3年度については、相談室や研修等についても新型コロナウイルス感染症に対する基本的な感染防止策を踏まえた開催を行い、また、心の健康づくり研修教材の内容をよく精査、検討して改修を行うこととしており、令和3年度の予算については執行する予定である。				
	諸謝金	6.7	8.0	働き方の変化や職務の複雑化、高度化、価値観の多様化、職場における世代間の格差や人間関係等により、ストレス因子が増大しており、心の健康の問題によって一箇月以上の期間勤務しなかった長期病休者が、令和元年度は前年度に比べて増加しており、職員の心の不調を早期に発見して対応していく「こころの健康相談室」の開設は、非常に大切なものと考える。				
	職員旅費	1.0	0.7	「こころの健康相談室」は、現在、本院及び地方事務局(所)の所在地のみで開設しているが、オンラインでの相談を取り入れることにより、相談に来ることが困難な職員等、相談を希望する職員が相談しやすい環境とすることが重要であることから、本院及び各地方事務局(所)にオンライン相談が可能となる情報機器を購入する等、オンライン相談の実施に向けた整備を行うため3,914千円要求する。また、昨今のデジタル化やテレワーク等での働き方も踏まえ、国家公務員の健康に関する実態調査では、Excel等の入力・集計ツールを作成して、各府省及び人事院の業務簡素化を図ることとし5,885千円要求し、令和4年度の要求においては増額要求となっている。				
	講師等旅費	0.7	0.7					
	庁費	0.1	0.1					
	計	10	20					
<b>成果目標及び成果実績(アウトカム)</b>	<b>定量的な成果目標</b>	<b>成果指標</b>		平成30年度	令和元年度	令和2年度	<b>中間目標 - 年度</b>	<b>目標最終年度 - 年度</b>
			成果実績					
			目標値					
			達成度	%				
<b>根拠として用いた統計・データ名(出典)</b>								



点検・改善結果	点検結果	国民への行政サービスを適切に行っていくためには、国家公務員が安心して業務を行うことができるように、その保健及び安全を保持するための施策を引き続き行っていくことが必要であるが、その施策の実施に当たっては、効率性及び有効性の観点から、各種相談事業について柔軟な運営方法を実施する必要がある。
	改善の方向性	各種相談事業については、実態を踏まえ、心の不健康な状態による長期病休者の予防に資するよう更に制度の周知を図りつつ、相談医と相談者の意向を勘案し相談時間や場所を個別に調整するなど柔軟な運営方法を実施し、より効率化を図る。また、本院及び地方事務局において開設している相談室は、それぞれの官署で開設していることから、相談室に来ることが困難な職員がいることが考えられること、また、オンラインによる相談を望む職員がより相談しやすい環境となるようオンライン相談での実施が可能となるよう整備を行い、精神及び行動の障害による長期病休者数の減少に向けて、引き続き、取り組みを推進する。

**外部有識者の所見**

※ 外部有識者による点検の対象外の事業

**行政事業レビュー・調達改善推進チームの所見**

一部の事業内容改善	各種相談事業について、より相談を受けやすくなるよう柔軟な運営を引き続き行うとともに、オンライン相談の導入により相談機会の拡大を図るよう、概算要求に適切に反映させること。
-----------	--

**所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況**

執行等改	各種相談事業については、相談事業の周知やより相談を受けやすくなるような柔軟な運営を実施しているところであるが、現状において相談に来ることが困難な職員に対しても相談機会を確保するため、オンライン相談を開設する予算を計上する。
------	---

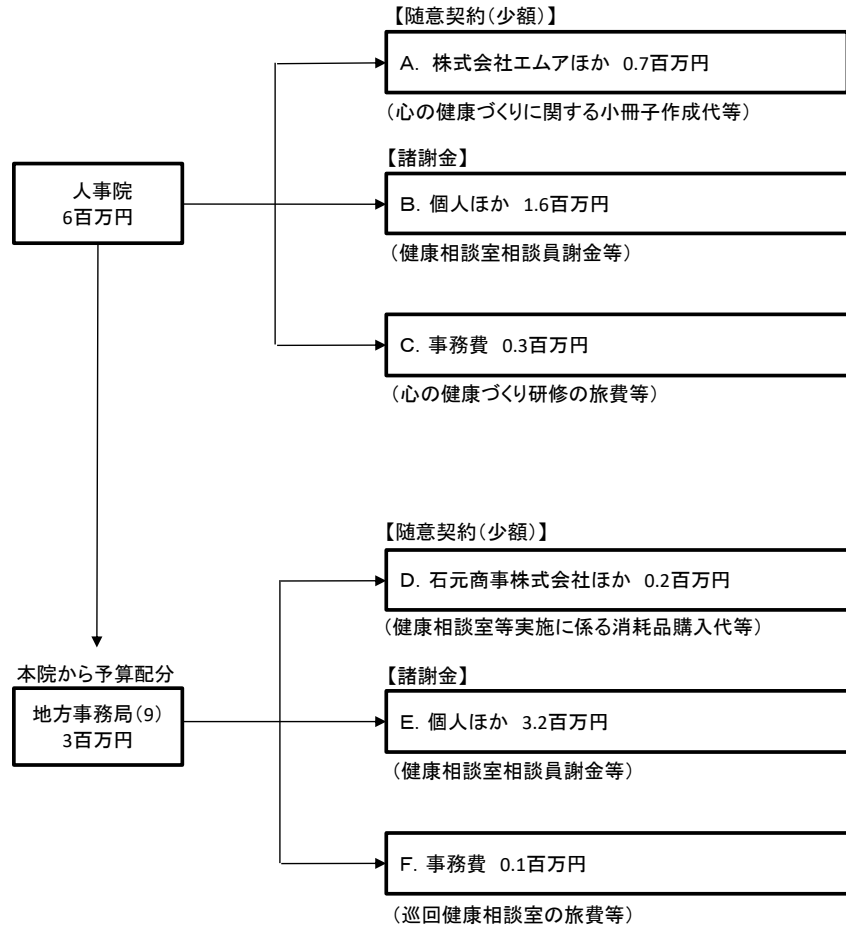
**備考**

**関連する過去のレビューシートの事業番号**

平成22年度	—	平成23年度	—	平成24年度	1	平成25年度	1
平成26年度	1	平成27年度	1	平成28年度	1	平成29年度	1
平成30年度	1	令和元年度	1	令和2年度	1		

※令和2年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているかについて  
補足する)  
(単位: 百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載)	A.			B.			
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
	計		0.0	計		0	
	C.			D.			
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
計		0.0	計		0		
E.			F.				
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)		
計		0.0	計		0		

支出先上位10者リスト

A

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社エムア	9050001026329	心の健康づくりに関する小冊子印刷代	0.3	随意契約(少額)	-		
2	三井不動産ビルマネジメント株式会社	4010001129759	心の健康づくりの研修実施会場借料	0.2	随意契約(少額)	-		
3	株式会社ワーナー	3040001008060	健康安全管理年報印刷代	0.1	随意契約(少額)	-		
4	株式会社ライズ・ビデオ・エイティ	5013301013243	中央安全対策会議・安全管理制度説明会の撮影及びDVDの作成代	0.06	随意契約(少額)	-		
5	株式会社天賞堂	9010001050794	国家公務員健康週間及び安全週間の標語作成者の表彰状全文筆耕代	0.02	随意契約(少額)	-		
6	美保産業株式会社	5010701009482	中央安全対策会議・安全管理制度説明会実施に係る消耗品購入代	0.01	随意契約(少額)	-		
7	一般社団法人すまいる・さぼーと品川	8010705002274	オンライン会議実施に係る消耗品購入代	0.005	随意契約(少額)	-		

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A		こころの健康相談室相談員謝金	0.3	(諸謝金)			
2	個人B		こころの健康相談室相談員及び心の健康づくり指導委員会会議出席謝金	0.3	(諸謝金)			
3	個人C		健康専門委員会議出席及び特別定期健康診断検査項目改正に係る助言・指導謝金	0.08	(諸謝金)			
4	個人D		職場復帰相談室相談員謝金	0.06	(諸謝金)			
5	個人E		国家公務員死因調査(追加調査)分析委託	0.05	(諸謝金)			
6	個人F		「心の健康づくりのための職場環境改善」ファンリテータ研修講師謝金	0.04	(諸謝金)			
7	個人G		心の健康づくりの研修講師謝金	0.02	(諸謝金)			
8	個人H		健康専門委員会議出席謝金	0.02	(諸謝金)			
9	個人I		安全専門委員会議出席謝金	0.02	(諸謝金)			
10	個人J		心の健康づくり指導委員会出席謝金	0.02	(諸謝金)			

